

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒562-0022 箕面市粟生間谷東6-8-11 進藤 信男 072-728-5836
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒559-0033 大阪市住之江区南港中5-6-22-703 坪井 仁志 06-6613-2836

令和4年10月(2022年) No.682

コロナ第2波もようやく下火化での映写会 まずまずの盛会で無事終了

第62回 OMC 映像フェスティバル

10月1日(土曜日)、大阪市立中央会館で行われた第62回OMC映像フェスティバルは、コロナ第7波もようやく下火になり、人々のコロナへの対応も慣れてきたころで、晴天にも恵まれ、出足好調で、受付も大忙しでした。受付では封筒の裏に記入された住所氏名、連絡先電話番号の記入の有無を確認する人、体温測定する人、手指消毒を確認する人などコロナ対策を実施しましたが、来場者の皆さん、とても協力的でした。会場では3密対策として椅子並べに工夫を凝らし、非常口の確認、休憩時間は扉の開放など気を配ったりしました。

当初、会場側から指定された100席は、20席追加し、何とか立ち見席だけは避けられました。

果たしてどれだけの人が集まって来られるのか一抹の不安もありましたが、まずまず盛会で肩の荷を下ろす事が出来ました。お世話頂いた各位に厚くお礼申し上げます。

OMC最大行事である発表映写会も無事終わりましたが、さあ来年の63回へ向け、皆さんの良い作品を年一本でもよいから作って頂くよう、今からお願いしておきます。

一方、発表会を続けることの難しさ、課題も見えてきました。これからも継続していけるように、世話役さんも含めて課題を一つ一つ解決していかなければならないと、気を引き締めているところです。

会長 合原一夫



■ 祝電を頂いた方：ありがとうございました

- 映像神奈川 会長 大隅 楠夫様
- 映像神奈川 副会長 金子喜代子様
- 寝屋川映像協会 会長 竹田 幸男様及び会員一同様
- 京都市(株)吉岡映像 社長 吉岡 博行様

10月例会のお知らせ

- 第4土曜日22日 18時より、難波市民学習センター。皆さん集まって下さい

■ 第26回大阪アマチュア映像祭

11月6日(日)大阪市立中央図書館での映像祭には、OMCからも8作品が出品されています。会員諸氏のご出席どうぞ。申し込み制となっていますので所定の**参加申込書**を岡本副会長(大阪アマ事務局)宛出してください。(注:参加申込の無い方は入場できません。)

“うけうり”ですが、これからも 映像を楽しむために

或る高齢者専門の精神科医の先生の著作で「80歳の壁」という本が話題を呼んでいる、という話を知人から聞いた。それを聞いて、なるほどなあと思ったので紹介したい。人間は不死身ではない。老いや衰えは必ず来る。それを受け入れ、まだある機能で勝負する。映像を楽しむ我々が一年でも楽しんでいけるよう、残存機能を伸ばすヒントを纏めてみた。

■ 残った機能をうまく使うヒント

- ① 歩き続けよう、歩かないと歩けなくなる
- ② いらいらしたら深呼吸
- ③ 運動は体がきつくない程度に
- ④ 噛めば噛むほど体と脳はイキイキ
- ⑤ さぼることは恥ではない、がまんして迄続けなくていい
- ⑥ 好きなことをする(映像づくりは止めるな)嫌いなことはしない
- ⑦ 外に出よう、引きこもると脳は暗くなる(カメラを持って外へ出よう)
- ⑧ 食べたいものは食べて良い。小太りぐらいが丁度よい
- ⑨ 「ちょっとづつ」こまめにやるのがいい
- ⑩ 付き合いは見直す、気の合う人とは仲良く末永く、嫌いな人とは無理に付き合い必要なし
- ⑪ 「何とかなるさ」は高齢者の魔法の言葉。「ダメだ」「もうあかん」ではなく、「何とかなるさ」と考えよう
- ⑫ 眠れなかったら寝なくていい→夜眠れなかったら昼寝をすればいい
- ⑬ 学びを止めたら老いる。映像作品創りの事を考え抜こう、そして行動を
- ⑭ 見栄を張らない。あるもので生きる
- ⑮ 話したいことは遠慮せず話せば気分も晴れる。自分で抱え込まない
- ⑯ いくら悔やんでも昨日は戻らない。明日の事は誰もわからない。明日は明日の風が吹く
- ⑰ 過去の嫌なことは忘れ、楽しい事だけを思い出そう
- ⑱ ひと様、お仲間の役に立つことをすることで自分の喜びにもなる
- ⑲ 笑う門には福来る。楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいのだ。最初に笑ってしまえば脳が楽しくなり、楽しいことを考え始めるのだ、毎朝、鏡を見て笑顔を作ってみませんか。

※

如何ですか、残りの人生、気楽に楽しく生きていきましょう。

(合原 記)

9月例会レポート

9月例会は24日(第4土曜日)18時よりいつもの難波市民学習センターにて開催、今月はどういうわけか欠席者が多く、作品も6本と少なめで早く終わってしまった。その分2次会の居酒屋組と喫茶店組のお仲間同士のくつろぎの時間が取れたので、映像談義に十分な花が咲いたことだろう。

- **運営担当**：司会 合原、書記 高瀬、YouTube 関係 江村、映写 江村、メモリー記録 中川、
受付・照明 森下、宮崎の各氏
- **出席者**：岩井、江村、紙本、合原、高瀬、坪井、中川、宮崎、森下、山本の10氏
- **上映作品**(今月の書記は高瀬氏)

1. コペンハーゲン BD
山本正夢 6分

(作者コメント)

コペンハーゲンはデンマークの首都で北欧のパリと称される歴史ある美しい街です。なおコペンハーゲンとは現地語で商人達の港の意味。

(書記コメント)

今回は珍しくバスで訪れられたようで、北欧の美しい街、コペンハーゲンを軽快なBGMに載せて描かれている。特に風景の構図の取り方、光線の使い方は秀逸。



2. 西播磨の巨木は日本一 BD
紙本 勝 9分40秒

(作者コメント)

兵庫県上郡町の法雲寺のビャクシンと三日月町の椋は各々に幹回りが日本一の大きさと、町のシンボリック的存在というだけあって立派なもので、永く生きてもらいたいものだと思います。

(書記コメント)

18作目の巨木シリーズ。電車で訪れるシーンから始まる毎回、お馴染みのパターンだが、安心感があり、それに続き、いつもどおり駅から数キロ歩かれる健脚ぶりには感服させられる。今回は3カ所訪れ、ビャクシン、イチヨウ、ムクの3本の巨木を撮影されている。それぞれに工夫されているが、その特徴を描くのに苦心の跡がうかがえる。



3. 大いなる遺産 BD
4. 合原一夫 9分54秒

(作者コメント)

京都の近代化を推進するため、琵琶湖からの水を京都に持つため、若き田邊朔郎は不可能と云われた琵琶湖疎水を完成させた。この史実を求め、大阪ビデオクラブの主催で平成10年撮影会が行われた。

(書記コメント)

琵琶湖疎水の歴史をまとめられ、撮影会作品ということでしょうか、撮影が南禅寺や蹴上周辺にとどまっているが、ナレーションの丁寧な説明で、よく分かる内容となっています。



5. 4面マルチ2作 BD
坪井仁志 5分47秒

(作者コメント)

1977年に8mmで作ったものと、2008年にminiDVで作ったもの2作品を見比べてみました。

(書記コメント)

4面マルチという珍しい映像表現に挑戦された意欲的な作品。社寺や仏像の心象的な表現は伝わるものがあります。ただ45年前の8ミリフィルムの映像とデジタルの映像を見比べると、やはり前者の画質の粗さなどが目立ちます。



6. 6月の長居植物園 BD
江村一郎 8分

(作者コメント)

長居公園には何回も来ていたが、あと2年で開園50年を迎える植物園は初めてでした。きっかけは紫陽花を撮るのに奈良の矢田寺を検討し



ていたが、コロナ対応で少しややこしいので、何も制限のない長居とした。入場口より反時計回りで撮ったもので編集もほぼ順番どおりです。広い園内で期せずして出会った被写体は幸運に恵まれました。

(書記コメント)

長居植物園に咲いている花を撮影と思って訪れられたと思われるが、スマホ撮影に熱心な人や、花の手入れをする人、画を描く人、蝶々を追いかける子供、ラストは猫まで登場し、花より興味深い被写体に出会われ、それらを上手くまとめられている。バラ、ダリア、紫陽花など花のアップのカットも忘れておられない。

7. 女神輿 やまぶき会

BD

高瀬辰雄

9分30秒

(作者コメント)

京都・松尾大社では4月～5月、山吹の花が境内を埋め尽くす。これにちなんで名づけられた「やまぶき会」は女性だけの神輿会。毎年、9月の八朔祭に神輿を担いできたが、この3年はコロナ禍のため中止。今年3年ぶりに復活。松尾大社から嵐山へ巡行、ところが途中、突然の雨に見舞われるというアクシデント。それでも雨の中、巡行は続けられ、舟渡して大堰川を渡ることが出来ました。



9月第二例会レポート

第2例会は9月15日(第3木曜日)13時より難波市民学習センターにて開催。今年は台風の当たり年、台風14号超大型台風が九州へと近づくと、週末あたりには関西にも来るのではと、早くも警戒のニュース。今日の第二例会の集まりは、まずまずの13名。合原会長司会のもと例会が始まった。7本の作品上映後、岡本副会長よりOMCフェスティバルの当日の役割分担について説明がなされた。出席者は勿論、会員諸氏のご協力をお願い致します。

- **運営担当**：司会 合原、書記 紙本、YouTube関係 江村、映写 江村、メモリー記録 中川、受付・照明 森下、宮崎の各氏
- **出席者**：岩井、植村、江村、岡本、紙本、上総、合原、高瀬、鉄具、中川、宮崎、森下、山本の13氏
- **上映作品(今月の書記は紙本氏)**

1. 夏の近江八幡

BD

岡本至弘

15分00秒

<作者コメント>

昨年から温めていた企画ですが、去年はコロナで残念、今年こそはと出かけてみました。しかし、お天気は曇り空、おまけに残暑厳しく撮影どころではありませんでした。目的は近江八幡宮周辺の夏景色と日牟禮八幡で行われる鼈頭の音頭取り師の盆踊りを撮影することでした。まずはお濠の遊覧船に乗船、船の音声ガイドを収録したが雑音のため余りよくなかった、おまけに現場の画像と合わず、作品になりませんでした。夕闇が迫り盆踊りが始まる頃には夕立の土砂降りの雨、しばらくして小雨になるも同行した踊り子は濡れながらの盆踊り、散々な撮影紀行でした。しかしながら、雨を強調した作品にすればよかったのは後の祭りでした。衣装はずぶ濡れ、後悔しきり。近江八幡駅で晩酌して、帰宅の途についたが電車のトラブルで遅延、午前様の帰宅、来年こそは再挑戦です。



「夏近江小雨にけむる盆踊り提灯の灯り幽玄に映ゆ」

<書記コメント>

近江八幡は季節を問わず風光明媚なところ。夏の盛り、遊覧船で葦が茂る間を行く、のんびりした、湖国ならではの風景です。陸に上がって日牟禮八幡の萬灯祭の行事盆踊りの太鼓などの囃子と江州音頭の唄が続きます。そして踊りです。映像を見る限り、雨で散々な目に遭われた事が判りませんが、雨を強調すればと悔やまれている通り、惜しいことに違いありませんし私にもよくあることです。熱中症にも成りかねないところ遅くまで大変お疲れさまで作者の貴重な作品となる事でしょう。

2. 奈良・浮見堂

BD

江村一郎

8分00秒

<作者コメント>

奈良公園の鷺池に浮かぶ六角のお堂「浮見堂」に行く。真冬に霧の立ちこめる風景を狙って早朝に行ったが霧の発生源となる水が少なく空振り。

後日たまたま大阪テレビで「緊急 SOS 池の水ぜんぶ抜く」で浮見堂の鷺池が映しだされていたのでこの部分から70秒を使わせてもらった。

<書記コメント>

水に写る姿がとても美しいと言う浮見堂は奈良公園内の代表的な水辺の風景。20年ぶりの池干しとかで水を抜かれた情景にまずは驚く。片岡梅林の梅のなどがみられ、テレビ大阪の水抜きではギンブナなどの在来種が、70匹、困ったのは、かめなどの外来種が1417匹も捕獲されたというこの場合も同じで飼い主のマナーが悪い。池には水が満ち、満開の桜とお堂が素晴らしく生き返ったようで、池と鹿・和服の女性などなど浮見堂の春爛漫の様を十分に見せてもらいました。



3. 近江八幡 左義長祭

BD

高瀬辰雄

16分40秒

<作者コメント>

近江八幡の左義長祭。平成11年の製作で、23年前の卯年の左義長です1月中旬から3月の祭りまで、およそ2か月間にわたり毎週、現地に出向き山車づくりから渡御、山車コンクール、けんか、奉火までのすべてを撮影。池田町と第十一区の協力を得て、制作することが出来た思い出深い作品です。



<書記コメント>

2か月以上にわたり、左義長祭りの全てを撮影されたそうですが、その成果は見事に作品に擬縮されています。思い出深い作品と述懐されていますが、左義長祭を知りたければこの作品を見よ、といった作品になっており、感心すると共に、言うまでもなく貴重なものと思われまます。

4. 捨墓山

DVD

合原一夫

8分45秒

<作者コメント>

わが故郷に、お山の中に廃去された墓場がある。近くにゴルフ場があり、ゴルフの球がとびこんでくることがある。或る少年が、そのゴルフ球を拾い行って廃去となった墓場に迷い込んでしまった。ドラマ仕立てで作った。私にしては珍しいジャンルの8ミリフィルム時代の作品である。現在、あの廃去された墓場はどうなっているだろうか、手入れもなく、うっそうとした雑木林のなかに埋もれた墓石がまだあちこち散



在しているに違いない。

<書記コメント>

墓は故人の遺骨を納めて供養をする場であり、文化であった筈が、今頃では、家族とのつながりが失われたり、子供に承継を拒否さたりして、墓石をごみの不法投棄と同じように、山などに捨てられるものが急増しているという。8ミリ作品とかでその時代から捨墓があったという事ですから少々気になる事象ではありました。

5. 松尾大社 BD
鉄具嘉夫 12分58秒

<作者コメント>

平成31年の神幸祭と還幸祭を取材しました。船渡御が面白かったです



<書記コメント>

神幸祭は神輿が境内で練られ、街中を5km桂川に入ります。船渡御が面白かったとありますが両岸の観光客も多く、氏子の船2艘、神輿も船に乗り対岸に到着。還幸祭となります。それから大社の立派なくつかの庭等が紹介されます。夜までも撮影されてよく判り優れた作品でした。

6. 晶子フォーラム2020 BD
上総秀隆 14分40秒

<作者コメント>

与謝野晶子の詩の数々に後世の作曲家が曲をつけて歌う。フォーラムの第二部では著名な歌人と国文学者の対談で、没後80年の晶子の生涯をかいま見る。



<書記コメント>

堺市で行われたイベントで、まず晶子の詩「君死にたもうことなかれ」が合唱されます。続いてお二人の対談です。明治11年の生誕と生涯の生き方が語られます。そして対談がテロップで表示され、関連する事項の挿絵が挿入されます。作品の最後まで大部分が連続する構成になっています。作制には手間を要されたことと思いますが、普通の映像鑑賞とは少し違った趣の作品に思われました。

7. 京大坂道 BD
山本正夢 11分00秒

<作者コメント>

高野山までの最後の道。ここから山道に入ります。昔の人は堺から高野山まで60km、2日で行きましたが、私は4日でやっと着きました。

<書記コメント>

学文路から女人堂まで、昔は最も賑わったという道を歩いておられます。60kmの山道を僅か4日で歩かれた効果は十分で、西行庵一寺一地藏堂・天萬宮―道の風景・荊萱堂―紀ノ川―九度山・本陣跡・仇討の地―道標―白藤の集落・不動坂―いろは坂・花折坂・女人堂―金剛峯寺等文化財・風景等知らない場所の道中記で見ごたえのある作品でした。

